

11/15
大阪府歯科保険医協会 敬
大 発 行 人 志 岐
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
電 話 (06) 6568-7731 (代 表)
http://osk-net.org/
2012年第1123号 ● 定 価 ・ 年 間 10,000円 月 1,000円
(毎月5、15、25日発行) ● 1977年5月23日第三種郵便物認可



「あいうべ体操」を実践する参加者（左）と、鼻呼吸の重要性を語る今井一彰氏＝4日、M&Dホール

市民講座に最多の275人

「口を閉じて、健康な生活を送ろう」
——。4日にM&Dホールで開かれた市民講座「口は命の入り口、心の出口」で、講師の今井一彰氏（福岡市・みらいクリニック院長）は自ら考案した「あいうべ体操」を披露し、会場いっばいの参加者に呼びかけた。テレビで話題の今井

保険でよい歯科診療を 大阪連絡会

氏の講演に、過去最多の275人が詰めかけ、第2・第3会場まで使用するなど盛況だった。歯科医療関係者や患者らでつくる「保険でよい歯科診療を大阪連絡会」が主催し、大阪府や大阪市、大手新聞社や在阪放送局が後援した。

「あいうべ体操」が好評

「症状が出たところだけ治療しても、体は治らない」と説明した今井氏は、カキの養殖を例に「おいしいカキをつくるには海だけでなく、源流となる森をきれいにする必要があります」と指摘。「病気の改善には、体の鼻呼吸に戻すことで、ゴミやアレルギーを除去。とけない」と訴えた。体の入り口で病気を招いているのが口呼吸だ。歯や口元の歪み、いびきを引き起こすだけでなく、様々な慢性炎症や精神疾患の温床になっているという。人間本来の鼻呼吸に戻すことで、ゴミやアレルギーを除去。

基軸

立命館大学教授 森裕之

橋下府政は2008年6月に出した『大阪維新』プログラム(案)の中で、「財政再建に一定の道筋がついた段階で『次の一手』を打つ」とした。この「次の一手」こそが、橋下・維新の会

最大の政策目的である。それは「成長戦略」である。

時代遅れの「成長戦略」

10年12月に橋下府政は「大阪の成長戦略」を発表する。そこでは、これから世界・アジアの中での都市間競争を展開するという目標の下に、「ハイエ

ンド都市」と「中継都市」の二つを大阪の将来都市像として掲げる。「ハイエ

ンド都市」とは環境・新エネルギー・バ

体内に取り込む外気温を調節し、自然治癒力を高める。鼻呼吸に重要なのが、舌の位置だ。口を閉じたときに舌が上あごについているのは前歯の裏についていることが多い。舌を適正位置に戻すために提唱しているのが、「あいうべ体操」だ。1日30回「あ、い、う、う、べー」と大きく口を動かし、舌や口の筋肉を鍛えることで鼻呼吸に変える。

今井氏は、アトピー性皮膚炎や関節リウマチ、花粉症患者らに体操を促したところ、数日、数力

イオなどの先端技術産業の集積や高度専門人材(ハイエンド人材)の育成・集積・交流による高付加価値の生産を可能にする都市であり、「中継都市」とはアジアと日本各地からヒト・モノ・カ

や公共事業に頼った成長戦略が時代遅れであることは、過去の大規模開発の失敗や最近のシャープの凋落などからも明らかである。何よりも、これらの政策は短期的には実施不可能である。だが、

橋下府政の中で唯一推し進められた成長戦略があった。それが教育改革である。

橋下府政は成長戦略へ向けたハイエンド人材の育成を施策の柱に位置づ

ける。具体的には、11年4月にトップレベルの府立高校10校を「進学指導特色校」として指定し、入試制度改革や重点予算配分などの措置を実施した。進学指導特色校は別名「グローバルリーダー

月で症状が消え、服薬量を大幅に削減できた複数の事例を報告。「体の上流を変えれば、下流は良くなる。『あいうべ体操』で国の医療費を減らし、歯科の医療費を増やせば口と体の健康を高めることができる」と述べ、参加者と一緒に実演。健康への第一歩として、体操を続けるよう呼びかけた。

新聞の案内を見て参加した60代の女性は、「鼻呼吸だけで健康になるなんて驚き。根気強く体操したい」と声を弾ませた。

講演前には、辻惠泉院議員(民主)があいさつし、竹本直一(自民)・宮本岳志(共産)・服部良一(社民) 各衆院議員、山下芳生参院議員(共産)がメッセージを寄せた。

希望者は大阪市まで 協会要望に市が対応

子ども医療費助成ポスター

協会は、大阪市の乳幼児医療費助成の拡充に伴う広報ポスター(写真)が、市内の一部医療機関に届いていないことから10月3日、同市に対してポスターの配布を要望した。大阪府は10月29日付で、「広報に協力頂ける医療機関等にはポスターを送付する」と回答した。要望を受け、当面はホームページで案内し、医療機関から広報に協力の申し出があった場合はポスターを送付する。

希望者は大阪市子ども青少年局子育て支援部子ども家庭課まで(Tel.06-6208-7971) 報に協力頂ける医療機関等にはポスターを送付する」と回答した。要望を受け、当面はホームページで案内し、医療機関から広報に協力の申し出があった場合はポスターを送付する。

協同組合 救急薬品セットを販売

協同組合は、「救急薬品セット」(税別1万円)を11月26日締め切りで販売します。2年ごとの定期更新制で、購入には下記説明会への参加が条件。申し込みは協会・協同組合まで。

購入者対象「歯科で必要な救急薬品の知識」

日時 12月9日(日) 午前10時半～
講師 中野明弘氏(大阪府臨床麻酔科医会前会長)
会場 M&Dホール 会費 無料

倒錯した発想
橋下・維新の会はもと

も「大阪都構想」を単一政策目標にしていたが、その目的は大阪の経済成長にあり、大阪市の教育改革が位置づけられている。こうした発想は倒錯している。都市は市民が働き暮らす共同体であり、教育は次世代の市民を育成する場である。それらを支える手段として経済や産業のあり方が考えられるべきであり、都市や教育を成長戦略の手段として扱うことは転倒した思想だ。都市や教育の意味を一人ひとりがもう一度冷静に考える必要がある。(つじく)

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)

「蛇の道は蛇」という言葉がある。江戸時代、岡引きの前職は犯罪業が多かった。元同僚には目こぼしもしたろうが、悪の世界では上下関係が厳しかったためか、十手を持たせると八丁堀の旦那には忠実で、何より悪の手口からその人脈にまで詳しく当時の低予算で人員削減のお上の役に立った。

警察は規則最優先の組織で融通がきかないが、上場会社みたいに職務目標が単純明確で、窮すると思いついた手も打つ。大阪万博では外国語特訓チームを作ったり、企業犯罪に対して企業経理に詳しい人を途中採用したり柔軟な人事もする。今回何人も誤認逮捕をして謝罪しまくり、そこらのお巡りさんにもまだ肩身の狭い思いをさせた。怪しい奴を捕らえて締め上げれば何とかなるという伝統的ずさんさを改める好機は今である。サイバー犯罪の対策強化にはコンピューターお宅の真犯人を捕まえた後、礼を尽くしても官に着いてもらうのが良策だろう。